

2018
南山大学 ドイツ語
弁論 オーラル・インタープリテーション大会
参加者募集

Deutscher Redewettbewerb und Oral・Interpretation

Der Nanzan-Universität in Nagoya

～オーラル・インタープリテーションの部～

ドイツ語による既成分の暗唱・表現

参加資格:ドイツ語圏滞在歴3か月以下の方。

制限時間:3分程度

～弁論の部～

ドイツ語による自作文の発表(テーマは自由)

参加資格:ドイツ語圏滞在歴1年以下の方。

制限時間:5分程度

学部・学科不問。

第二外国語受講者も歓迎!

【日時】2018年12月8日(土)

10:00～ オーラル・インタープリテーションの部

14:00～ 弁論の部

【会場】南山大学 Q314教室

【商品】入賞者に賞状・粗品贈呈

【参加費】無料

【応募〆切】2018年11月10日(土) ※応募のみ

【応募・お問い合わせ】

ドイツ文化研究会 2018.nanzan.deutsch@gmail.com (青山)

【主催】南山大学ドイツ文化研究会

【共催】南山大学外国語学部ドイツ学科



第 57 回『南山大学ドイツ語弁論大会』
第 43 回『ドイツ語オーラル・インタープリテーション』
開催のお知らせ

南山大学で『第 57 回ドイツ語弁論大会』、『第 43 回ドイツ語オーラル・インタープリテーション』が開催されます。多数のご参加、ご来場をお待ちしています。

【日 時】 2018 年 12 月 8 日(土)

10:00 より 「ドイツ語オーラル・インタープリテーション」

14:00 より 「ドイツ語弁論大会」

【場 所】 南山大学 Q314 教室

【大会構成】

第一部 「ドイツ語オーラル・インタープリテーションの部」

・ドイツ語で書かれたテキストを理解し、解釈し、それを口語表現する。

第二部 「弁論の部」

・ドイツ語による自作文章の発表。テーマは自由。

※オーラル・インタープリテーション、弁論ともに、テキストは暗誦してください。

【出場資格】 学生及び一般の方(若干名)。但し、以下の条件に当てはまる方はご遠慮ください。

・オーラル・インタープリテーションの部:ドイツ語圏滞在歴 3 ヶ月以上の方。

・弁論の部:ドイツ語圏滞在 1 年以上の方、ドイツ語を母語とされる方。

※一般の方については、人数制限をさせていただく場合がございます。ご了承ください。

※2018 年度、ほかの大会で入賞された方もご応募いただけます。

【時間制限】 オーラル・インタープリテーションの部 3 分程度、弁論の部 5 分程度

【賞 品】 優勝者はじめ入賞者には賞状、記念品などを贈呈

【参加・観覧】 無料

【応募締切】 2018 年 11 月 10 日(土)

【主 催】 南山大学ドイツ文化研究会

ドイツ文化研究会部長 林田 雄二

大会実行委員長 青山 菜々子

【後 援】 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、大阪ドイツ文化センター、

日本独文学会東海支部、名古屋日独協会、ルフトハンザドイツ航空

【お問合せ】 南山大学ドイツ文化研究会:2018.nanzan.deutsch@gmail.com(青山まで)

第57回『南山大学ドイツ語弁論大会』・第43回『ドイツ語オーラル・インタープリテーション大会』申し込み要項

【申込み】必要事項を明記し、メールで以下の宛先にお送りください(郵送不可)。

<必要事項>

- ①参加部門 (オーラル・インタープリテーション/弁論)
- ②タイトル
オーラル・インタープリテーション：ドイツ語のタイトル
弁論：ドイツ語と日本語、両方のタイトル
- ③テキスト (Word 文章などで添付ください)
オーラル・インタープリテーション：ドイツ語のテキスト
弁論：ドイツ語のテキスト
日本語の弁論要旨 (200 字程度で弁論内容をまとめたもの)
- ④住所
- ⑤氏名 (漢字とアルファベット)
- ⑥連絡先 (電話番号、メールアドレス)
- ⑦職業
社会人：職業
学生：大学名・高校名、および学部、学年
- ⑧ドイツ語歴
- ⑨宿泊の有無 (宿泊施設：南山研修センター)

<宛先> 南山大学ドイツ文化研究会 大会実行委員長 青山 菜々子
E メールアドレス：2018.nanzan.deutsch@gmail.com

(申し込み確認メールが届かない場合は、
南山大学ドイツ学科合同研究室 052-832-3111 までお電話ください)

<締切> 2018 年 11 月 10 日(土)

(テキスト及び弁論要旨が 11 月 10 日に間に合わない場合は、ご相談ください)

プロンプター(演者の発表を脇で補助する係)用に必要ですので、必ず送信をお願いいたします。

※オーラル・インタープリテーション、弁論ともにテキストはできる限り暗誦してください。